

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・当グループホームの特色を活かした理念を作っています。目標のひとつは「ここに来て良かったね、ここに来たら元気になったね」と言って頂けることです。		・さらに具体的内容の独自の理念をつくりあげ、特色のあるグループホーム作りに取り組んでいきたい。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・管理者と職員、併設施設の職員と協力して理念の実践に向けて日々取り組んでいます。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	・家族の方や併設施設の方等と話し合いながら、交流を通じ現状生活を維持していけるように支援しています。		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・気軽に立ち寄って頂ける環境作りに取り組み、親しみやすいグループホーム作りを目指しています。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・地区の草刈り等に参加しています。地区の老人会をお世話している方や併設施設に係っている地区の方々との交流を図ることで、ご利用者が孤立しないように努めています。		・近隣の住宅は新築の県営住宅が建設中で、日常的なつきあいが困難な面もあるため、入居の方が孤立しないよう併設施設に係る方々と楽しみながら交流出来るような活動を計画しています。
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・併設施設の職員と協力し、学生や高齢者の方々等と併設施設を利用した活動を行っています。		・今後も施設の特色を活かして、活動を少しずつ広げていきたいと考えています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価及び外部評価を実施するにあたって、日頃の活動や取り組み、書類などの見直しや勉強の機会となるように話し合っています。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進会議での話し合いより、入居者の皆様・ご家族・市の職員の方等の意見からサービスの向上・方向性を話し合っています。第三者の方の意見を聞ける良い機会として活用させて頂いています。		・今後、運営推進会議にて活動の参加なども取り入れ、入居者の方の状況等をより一層把握して頂けるようになればと考えています。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・日頃より、市町村担当者と訪問・電話等の連絡を取り合い、意見を頂きサービスの質の向上に取り組んでいます。ケースワーカーの方が定期的に訪問しています。ご利用者の状況報告を行いご意見を頂いています。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・入居時や必要時に制度についての説明を行っています。具体的な活用は現在のところありませんが、今後も制度についての知識を学んでいきたいと考えています。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・入居者の方の現状態が把握出来るように努め、高齢者虐待防止関連法について話し合い、虐待などが行われないよう、また見過ごされることのないよう連携を図っています。		
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約、解約時には十分な話し合いを行っています。また、ご家族の方が意見・不安を出来るだけ話しやすい信頼関係が保たれるよう心掛けています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・管理者・職員・併設施設の職員等と協力して問題に取り組むようにしています。必要であれば入居者の方やご家族と話し合いを行い問題解決に努めています。		
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・毎月グループホームだよりや近況を記入した写真付きはがきを作成し郵送しています。健康状態や現状報告は面会時や毎月のお支払い時に随時報告しています。個別の金銭出納帳を作成して毎月報告して確認を頂いております。また、毎月の請求書と一緒にのお小遣いの残高をお知らせする文章も同封しています。月に2回「活動アルバム」を作成してお渡		
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・面会の際やお支払いに来られた時等に、現状報告を行っています。ご意見やご要望を話しやすい雰囲気作りと関係作りにも努めています。		
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・職員会議以外にも、話し合う機会を大切にしています。こまめな報告・連絡・相談を心掛け、早急な話し合いのもと問題解決に努めています。		
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・入居者の方の状況や活動に応じて、職員配置を行っています。併設ユニット・併設施設との柔軟な協力体制が実現出来ていると思います。		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・馴染みの職員を中心に、職員間の情報の共有・理解の共有に努めています。併設施設の職員等とも日頃より関わりを持つことで協力し偏りの無い柔軟な支援に繋がっていると思います。		
5. 人材の育成と支援				
19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮し生き生きと勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されているように努めている	・職員の募集・採用にあたっては人柄を重視して、性別・年齢を理由に採用対象から排除しないようにしています。事業所で働く職員の能力や特技が発揮出来るように努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
20	人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	・入居者の方々の人権を尊重するための話し合いを持つように心掛け、人権教育・啓発活動に努めています。		
21	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・施設内の研修や職員会議にて事項に応じた勉強が出来るように努めています。又、可能な範囲で経験に応じた研修が受講出来るよう機会を設けています。		
22	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・外部研修や勉強会等の参加を通じ、交流を図っています。訪問看護師さんの研修や見学などの機会に、サービスの質の向上に繋がる話し合いを行っています。		
23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・職員会議等で意見交換の機会を多く作るようにしている。又、職員間の連携を図るため、ご家族の協力を頂き職員研修の機会を設けています。		
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・相談から利用に至るまでの聞き取りは、十分に行い困っていること不安なこと、求めていることを本人に聞く機会を作っています。表情などからの気持ちにも配慮して接するようにしています。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・ご家族とも話し合う機会を設け十分に聞き取れるように努めています。入院されている場合は、関係者の方からの聞き取りにより、状態を把握出来るように努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・グループホームの入居にこだわらず、相談があった際は他のサービスも含め、状況に応じた助言・援助を行うようになっています。併設施設の職員やケアマネージャーとも連携を図り柔軟な対応が実現出来るように努めています。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・見学や体験利用を通じ、ご利用者のかたが安心して馴染めるようにご家族と相談しています。ご家族の都合だけでなく本人さんが納得して入居出来るよう支援しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・状況に応じた対応が出来るように、気持ちを考えた対応が出来るよう表情や状態の把握に努めています。会話の際、ご利用者の方が自分の気持ちを表すことが少しでも出来るような声掛けを心掛けています。		
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・ご利用者を支援するにあたって、ご家族の気持ちも考慮しグループホームとして出来ることと出来ないことの理解をして頂きより良い方法を一緒になって考えていけるように努めています。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・ご家族の訪問時には、現状報告を行い本人さんとの関係が保たれるよう働きかけています。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・今まで馴染みだった方が訪問に来られた時、その関係が継続出来るように支援出来るようにと考えています。ご利用者の要望などはご家族や訪問者にも伝えて協力して頂けるようにしています。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・利用者同士の関係を把握出来るように努め、利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めています。必要に応じ全体で又、個別で話し合いを行っています。コミュニケーションが困難な方が孤立しないように雰囲気を大切にしています。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・退居された後も、併設施設にご利用があったり相談があったりする際は、引き続き援助が出来るように取り組んでいます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・日頃の会話からの聞き取りや状態に応じて、一人ひとりの思いや暮らし方の希望や意向の把握に努めています。</p>	<p>・意向や思いのわかりにくい方に対しても、今後も暮らしの中で楽しめることをひとつでも見つけていきたいと考えています。</p>
36	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>・ご家族・本人さんに生活歴や馴染みの暮らし方を聞き取り、把握出来るようにしています。入居期間の長い方も会話の中で新たな発見が多くあり、今後も話を聞いていき理解していきたいようにと考えています。</p>	<p>・生活歴・暮らし方の希望と現在の状況を考えて、出来る範囲の援助方針を考えていけるように取り組んでいます。</p>
37	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>・心身の状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めています。</p>	<p>・職員間の連携と、施設の特色を活かし有する力をさらに引き出せるような援助を行っていききたいと考えています。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要の関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・課題やケアのあり方については、申し送り、話し合いのもと介護計画を作成しています。</p>	
39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要の関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・介護計画の期間に応じ見直しを行っている。入居者の方、ご家族と話し合い計画を作成しています。</p>	<p>・細かい申し送りや現状が計画に反映されていないこともまだまだあるため、今後書式や記入内容について見直していきたい。</p>
40	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>・個別記録・経過表に気づきや援助内容を記録して情報を共有している。</p>	<p>・今後も、言葉での細かい申し送りが記録により反映されるように向上していきたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・事業所の環境や機能を利用してたくさんの方の協力のもと、状況や要望に応じられるように支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・地区の世話人・が訪問したり、相談に応じて頂いている。		・今後さらに多方面の機関と連携していけるように取り組んでいきたい、
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・他の施設のケアマネジャーやサービス事業者と連携を図り、支援しています。他のサービスのアドバイスや制度の相談を行っています。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・必要な場合は、地域包括支援センターや市役所等に相談援助を頂いています。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・かかりつけ医の診断や意見をご家族に報告して、適切な医療が受けられるように支援しています。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・認知症の専門医やソーシャルワーカーの方と連絡を取り、気軽に相談にのって頂いています。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・併設施設の看護師、医療連携で契約している訪問看護師に日常の健康管理や状態の変化の際の相談を行っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・医療機関と情報を交換して、適切な医療が受けられるように支援しています。入院設備がある病院のソーシャルワーカーに相談して、入院の際の援助を受けています。		
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・医療が必要になった際の対応や、重度化した際の援助について、入居時や日頃よりご家族・主治医などと話しをしています。医療機関の利用が必須になった時の場合についても話しをしています。		・重度化した場合や終末期について、看取りに関する対応指針説明をご家族に行い同意書に署名・捺印を頂いています。
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・事業所の出来ること、出来ないことを日頃より事業所で話し合い、ご家族・入居者の方に理解して頂けるように説明を行っています。		・かかりつけ医に電話や通院時、現状報告や支援についての相談を行っています。
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・グループホームから別の場所に移る際、グループホームでの状態をお伝えして戸惑いや不備のないよう情報提供を行っています。		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・言葉かけや対応については、入居者の方の誇りやプライバシーを損ねないように配慮している。個人情報の取り扱いについては十分配慮しています。		・お名前の呼び方や、口調等に注意している。思いやりと尊敬の気持ちを忘れずに日頃より注意し合っていて気を付けています。
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	・思いや希望が表わせるように働きかけている。全て介護側が一方向的に援助するのではなく、入居者の方が生活しやすいように出来ないことを見極め、援助するように配慮しています。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・食事のペース、日常動作など、お一人おひとりのペースに合わせてるように努力しています。		・共同生活を行う上、ルールや協調が必要な時は、入居者の方と話し合い理解をして頂けるよう支援しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、整容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・整容・美容は、出来るだけ希望する店に行けるように支援しています。定期的に散髪・パーマに店に来店しおしゃれを楽しみ気分転換を図っています。好みを大切にしその日に着る洋服等が選択出来るように働きかけ、おしゃれや身だしなみの気持ちが損なわれないよう注意しています。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・食事の時間を前もって声かけし、食べたいもの、好みを聞き食事が楽しみになるように働きかけています。お箸を出したり、テーブルを拭いたり時には野菜の下ごしらえを手伝ったり出来るように支援しています。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・たばこ、お酒を飲まれる方は現在のところいません。おやつや好みのものは、健康状態を考慮しご家族と話し合い、日常的に楽しめるよう支援しています。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・個人の排泄パターンに合わせて、出来るだけトイレで排泄出来るように支援しています。清潔管理にも注意して入居者の方々が気持ち良く過ごせるように配慮しています。		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・ある程度の日程は決めていますすが体調やお気持ちを優先して配慮しています。入浴がおっくうにならず、楽しめるように声掛けを行っています。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・お一人おひとりの生活習慣やペースを把握するように努力して、安心して睡眠がとれるように配慮しています。		・意欲の低下により、日中横になり活動低下にならないように、声掛けを行い生活リズムが狂わないよう注意しています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・一日を楽しく喜びのある日々が過ごせるよう働きかけています。個人に合わせた役割・楽しみ支援を行っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・お小遣いは、個別に管理しています。ご自分で電話をかけられる方は両替して自由に使えるようにしています。		・金銭の管理についてはご家族と話し合い行っています。
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・状態や希望に応じて、併設のデイサービスを利用したり、天候の良い日は保育所の子供たちを眺めたり、屋外で過ごしたり、時にはテラスで昼食会を行う機会を作っています。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・入居者の方からの希望があるときは、ご家族にもその希望を伝え実現出来るよう支援している。日程を調整し家族と出かけられるよう働きかけています。		
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・手紙をお渡しして、ご家族のお話しをしています。希望があれば自由に電話できるように支援をしています。		・状態に応じ、対応の仕方はご家族と話し合い行っています。
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・談話スペースでもゆっくり話せるように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・介護保険法指定基準における禁止となる行為や身体拘束を行わないよう、日頃より話し合いを行っています。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・玄関は開放し鍵をかけないケアに取り組んでいます。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・居室でのプライバシーの時間に配慮して、様子や状態を把握できるよう工夫しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・心身の状態に合わせて、危険を防ぐ工夫をしています。状態が変わった時職員間で情報が円滑に共有出来るように努めています。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・転倒・窒息・誤薬・行方不明・火災等の危険性の知識・情報を共有して、話し合いを行っている。事故防止を配慮した環境整備に努めています。		
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・緊急時マニュアルを作成して緊急時の対応を話しあっています。		・救命講習を受講したものが、他職員へ伝達をして意識を高めるよう取り組んでいます。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・災害時の対応について日頃より、話し合いを行っている。併設施設とも協力して意識を高めるよう取り組んでいます。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起り得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	・お一人おひとりの状態の変化を把握して、その都度ご家族に連絡・報告を行うように心がけています。起り得るリスクと、どのように生活していきたいかを良く理解して抑圧感のない暮らしを目指しています。		
78				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・毎日バイタルチェックを行い、その日の状態や様子を職員間で共有して、変化や異変の発見に努めています。		・体調の変化があれば、主治医や訪問看護師に相談をしている。
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・服薬管理表を作成し、目的・副作用・用法・用量について把握出来るようにしています。		・薬の変更があった際は注意してその状況を観察して、状態の把握に努めています。
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・食事のバランスに配慮するとともに、排便パターンの把握、運動を促す等予防と対策を行っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・毎食後に歯磨き、入れ歯の手入れを行っている。食事の摂取量・口腔状態に注意している。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・食事の摂取量・栄養状態・水分の摂取について管理しています。状態に応じ食事を工夫しています。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・インフルエンザの予防接種は毎年接種しています。訪問者についても感染についての理解を促し、協力して頂けるよう話しをしている。外出後は手洗いうがいを徹底しています。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・台所の衛生管理に配慮して食品の保存・取扱いにも注意しています。		
82 (1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・季節の木々を植えたり、親しみやすい環境作りに取り組んでいます。出入りにつきましては併設施設や事務所との協力のもと安全が保てるように工夫しています。		・訪問された方も癒されるような環境作りをめざしています。
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・入居者の方々が過ごしやすいように、音・光・室温等に配慮しています。季節感を感じて頂けるような掲示板作りや環境整備に取り組んでいます。		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・独りになれたり、気の合った方と外を眺めゆっくり過ごせるスペースを作り、思い思いに過ごせるように配慮しています。		・併設施設の環境も利用して、いろいろな場面で楽しめるようにと環境整備に取り組んでいます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・入居時に状態や好みに合わせて、居心地の良いお部屋作りが実現出来るように支援しています。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・清潔・清掃には十分配慮して暮らしやすい環境作りに努めています。換気は毎日行い室温にも配慮して、過ごしやすいように注意しています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・居室は状態・安全に考慮して、少しでも自立した生活が実現出来るように入居者の方・ご家族と話し合いを行い改善に努めています。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・状態を把握して、暮らしやすい環境作りを見直しながら行っています。混乱や失敗があればそれを改善・予防できるように話しあい工夫しています。		
89	建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・併設施設の環境を利用して、気分転換や楽しめるよう努めています。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
100	職員は、生き活きと働けている		ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・心のこもった介護を行うため、スタッフの人柄を大切にしています。
- ・風通しの良い閉塞感の無い、明るい環境作りに取り組んでいます。